



CHUSUGI
CHUO UNIV. SUGINAMI HIGH SCHOOL

2年次

研修リーダープロジェクト

～共に育ち、共に創る学びの場をデザインする～



Illustrated by Aoi Y. (CS58th)



もくじ

1. 概要

- ・研修リーダープロジェクトについて（年間スケジュール）・・・・・・・・・・ 1

2. ワークシート

- ・春休み課題：研修先の書籍を読もう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・ワークシート【1】お互いを知ろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ・ワークシート【2】：研修先について調べる・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・ワークシート【3】：現地の人に聞いてみよう・・・・・・・・・・・・ 9
- ・ワークシート【4】：動画を作成する①・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ・ワークシート【5】：動画を作成する②・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- ・ワークシート【6】：情報共有会に向けて・・・・・・・・・・・・ 12
- ・情報共有会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ・夏休み課題：「個人探究実践」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ・夏休み課題：「問い」設定ワークシート・・・・・・・・・・・・ 15
- ・「個人探究実践」発表会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- ・「問い」設定ワークシート①・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- ・「問い」設定ワークシート②・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- ・探究アクションワークシート①・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- ・探究アクションワークシート②・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- ・探究アクションレポート作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

3. 研修先の日程表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

4. 付録：中杉生の作成した探究アクションプラン・・・・・・・・・・ 28



概要

研修リーダープロジェクトは、研修内容や事前学習を検討し、リーダーとして旅行を企画・実施します。また、学習テーマについて問いを立て、現地での調査を実施し、その内容をまとめ、レポートを作成することで社会に参画することを目指します。

研修旅行のコース

- ・ 沖縄（平和学習）・・・沖縄戦跡・民泊プログラム・グリーンベルト植樹活動等
- ・ 奄美大島（自然環境保全）・・・トレッキング・カヌー体験とマングローブ・文化体験等
- ・ 東北地方（防災学習）・・・三陸鉄道防災学習列車・伝承館・備蓄倉庫・東北大学等
- ・ マレーシア（多文化共生社会）・・・B&S プログラム、カンポン（農村）ビジット等
- ・ 韓国（国際交流）・・・学校交流、B&S プログラム、企業視察、DMZ(非武装地帯)等

年間スケジュール

	プログラム	学習内容	資料・ワークシート
春休み	研修先の書籍を読もう	各研修先に関する書籍を読む	春休み課題
4月	お互いを知ろう	自己紹介及び研修先の課題図書を共有	ワークシート①
	研修先を調べる	各研修先のキーワードについて調べる	ワークシート②
	現地の人に聞こう	疑問に感じたことをインタビューする	ワークシート③
5月	動画を作成する①	グループで調べたキーワードを共有	ワークシート④
	動画を作成する②	コンセプトに基づいた動画を作成する	ワークシート⑤
6月	情報共有会に向けて	各研修先における情報共有会の準備	ワークシート⑥
	(全体) 情報共有会	作成した動画を共有する	情報共有会
中間報告会（アカデミックプロジェクト）			
夏休み	(全体) 個人探究実践	個人で深く調べたい事柄を探究する	夏休み課題
9月	(全体) 発表会	夏休みの個人探究実践を発表する	個人探究実践発表会
	(全体) 問いを設定①	グループで研修先の「社会事情」や「地域課題」を考える	「問い」設定 ワークシート①
10月	(全体) 問いを設定②	研修先での具体的な調査を考え、探究アクションを決定する	「問い」設定 ワークシート②
	(全体) 事前調査	探究アクションについて調べる	探究ワークシート①
11月	(全体) 現地調査計画	行程表を参考に現地で具体的に「何をどのように調べるのか」を計画する	探究ワークシート② 各コースの日程表
12月	研修のしおり作成	各研修コースのしおりを作成する	
成果報告会（アカデミックプロジェクト）			
1月	研修旅行		
2月	(全体) まとめ	全体発表会の準備及びレポートの完成	探究レポート作成
	全体報告会 (リーダー・アカデミック)	全プロジェクトのそれぞれの活動内容と成果を発表し合う	関係者による講評



春休み課題 研修先の書籍を読もう

() 組 () 番 ()

これから皆さんは、研修リーダーとして旅行を企画・実施します。

まずは、研修先についてしっかりと知識を蓄え、一緒に旅をする仲間に共有できるようにしましょう。

あなたの研修先 (沖縄 ・ 奄美大島 ・ 東北 ・ マレーシア ・ 韓国)

1. 春休み中に研修先について学ぶことのできる書籍を1冊読みましょう。

書籍タイトル

--

2. 書籍の内容と感想を書きましょう。

内容

感想



ワークシート [1] お互いを知ろう

() 組 () 番 ()

1. 【バースデーライン】

誕生日の早い順番から 1 列に並びましょう。ただし誕生日順に並ぶ際、会話をしてはいけません。身振り手振りだけでお互いの誕生日を把握し合い正しい順番で並んでください。

2. バースデーラインで 1 月から順に 4 人ずつのグループを作り、一人 2 分で自己紹介をしましょう。

【自己紹介の方法】

A4 用紙を 4 等分に折って以下の項目を記載し、グループで自己紹介してください。

名前	研修先を選んだ理由
マイブーム	自分を漢字 1 文字で表したら・・・



3. 研修先に関する本を読んだ内容・感想を一人 3 分で共有しましょう。

4. 上記とは異なるメンバーでグループを作り、2. で作成した A4 用紙を使い、一人 2 分で自己紹介をしましょう。

5. 研修先に関する本を読んだ内容・感想を一人 3 分で共有しましょう。

6. 本日学んだ研修先についてまとめましょう。

印象に残ったことや興味を持ったことなどをできるだけ具体的に書こう！



ワークシート〔2〕沖縄について調べる

() 組 () 番 ()

沖縄のことを1つ詳しく調べて、動画を作成してみんなで共有しよう！

動画作成の手順

個人で調べる → オンラインで現地事情を聞いてみる → 4つのテーマ（歴史・文化・自然・観光）のグループに分かれる → グループで各テーマについて動画を作成する → 動画をみんなで共有する

①下記のキーワードから興味のあるものを一つ選びましょう。

歴史	文化	自然	観光
・日本になるまで ・日本になってから戦前まで ・戦争中の沖縄の位置づけ（沖縄戦） ・米軍統治時代 ・現代の沖縄	・食文化 ・沖縄の方言（しまことば） ・独特の文化（シーサー、石敢當など） ・伝統芸能 ・音楽	・気候 ・地形の成り立ち ・沖縄独自の生態系 ・やんばる ・サンゴ礁	・産業 ・基地との共存 ・世界遺産 ・離島 ・自然保護活動

②選んだキーワード

③選んだキーワードについて調べたことをまとめましょう。

この欄は、動画を作成する際に必要な説明を書く等、メモ用に使って下さい。



皆さんの中に「調べ学習はインターネットを開いて「それらしいもの」を見つけたら、それを参考にして終わり」という安直な人がいます。今回は更に深掘りして内容のあるものにしましょう。



ワークシート〔2〕奄美大島について調べる

() 組 () 番 ()

奄美大島のことを1つ詳しく調べて、動画を作成してみんなで共有しよう！

動画作成の手順

個人で調べる → オンラインで現地事情を聞いてみる → 4つのテーマ（行政・自然・文化・その他）のグループに分かれる → グループで各テーマについて動画を作成する → 動画をみんなで共有する

①下記のキーワードから興味のあるものを一つ選びましょう。

観光行政	自然保護	文化	その他
・オーバーツーリズム ・世界遺産登録 ・外来種対策 ・産業と雇用 ・移住者推進	・生物多様性 ・固有種生物と保護 ・海の環境保護 ・ロードキル ・マングローブ	・教育（文化継承） ・方言（島言葉） ・食文化 ・大島紬 ・自然信仰	・人口減少 ・高齢化 ・地形の成り立ち ・奄美大島の歴史 ・奄美大島とハブ

②選んだキーワード

③選んだキーワードについて調べたことをまとめましょう。

この欄は、動画を作成する際に必要な説明を書く等、メモ用に使って下さい。



皆さんの中に「調べ学習はインターネットを開いて「それらしいもの」を見つけたら、それを参考にして終わり」という安直な人がいます。今回は更に深掘りして内容のあるものにしましょう。



ワークシート〔2〕東北について調べる

() 組 () 番 ()

東北のことを1つ詳しく調べて、動画を作成してみんなで共有しよう！

動画作成の手順

個人で調べる → オンラインで現地事情を聞いてみる → 4つのテーマ（防災・観光・グルメ・その他）のグループに分かれる → グループで各テーマについて動画を作成する → 動画をみんなで共有する

①下記のキーワードから興味のあるものを一つ選びましょう。

防災	観光	グルメ	その他
・防潮堤 ・防災倉庫 ・震災遺構/伝承館 ・防災教育(てんでんこ) ・津波避難タワー	・七夕まつり ・松島 ・復興屋台村 ・三陸鉄道 ・光のページェント	・牛タン ・牡蠣 ・ずんだ ・さんま ・かもめの玉子	・方言 ・原子力発電所 ・BRT ・かさ上げ ・リアス式海岸

②選んだキーワード

③選んだキーワードについて調べたことをまとめましょう。

この欄は、動画を作成する際に必要な説明を書く等、メモ用に使って下さい。



皆さんの中に「調べ学習はインターネットを開いて「それらしいもの」を見つけたら、それを参考にして終わり」という安直な人がいます。今回は更に深掘りして内容のあるものにしましょう。



ワークシート〔2〕マレーシアについて調べる

() 組 () 番 ()

マレーシアのことを1つ詳しく調べて、動画を作成してみんなで共有しよう！

動画作成の手順

個人で調べる → オンラインで現地事情を聞いてみる → 4つのテーマ（政治・歴史・文化・その他）のグループに分かれる → グループで各テーマについて動画を作成する → 動画をみんなで共有する

①下記のキーワードから興味のあるものを一つ選びましょう。

政治・経済	歴史	文化	その他
・政治体制 ・ASEAN ・経済成長 ・ブミプトラ政策 ・首都機能移転	・植民地時代まで ・独立以降から現在まで ・民族構成・言語事情 ・プラナカン文化 ・地理/気候/国境	・宗教（イスラム教） ・ハラル ・衣文化 ・食文化 ・住文化	・日系企業 ・教育 ・カンポン ・ベリーズチョコ ・アブラヤシ農園とパーム油

②選んだキーワード

③選んだキーワードについて調べたことをまとめましょう。

この欄は、動画を作成する際に必要な説明を書く等、メモ用に使って下さい。



皆さんの中に「調べ学習はインターネットを開いて「それらしいもの」を見つけたら、それを参考にして終わり」という安直な人がいます。今回は更に深掘りして内容のあるものにしましょう。



ワークシート〔2〕韓国について調べる

() 組 () 番 ()

韓国のことを1つ詳しく調べて、動画を作成してみんなで共有しよう！

動画作成の手順

個人で調べる → オンラインで現地事情を聞いてみる → 4つのテーマ（政治・歴史・文化・現代社会）のグループに分かれる → グループで各テーマについて動画を作成する → 動画をみんなで共有する

①下記のキーワードから興味のあるものを一つ選びましょう。

政治・経済	歴史	伝統文化と継承	現代社会・文化
・ 韓国の大統領制 ・ 軍事境界線と非武装地帯（DMZ） ・ 太陽政策と南北首脳会談 ・ 韓国の徴兵制 ・ 韓国の財閥	・ 秀吉の朝鮮出兵と李舜臣 ・ 日本植民地時代 ・ 朝鮮戦争 ・ 朴正熙と日韓基本条約 ・ 漢江の奇跡	・ ハングル ・ 韓屋とオンドル ・ 民族衣装と伝統生地 ・ 食文化 ・ 文化/自然遺産	・ K コンテンツ 1 ・ K コンテンツ 2 ・ K-フード（屋台・市場・カフェ） ・ 都市再生と観光 ・ 教育制度/大学入試

②選んだキーワード

③選んだキーワードについて調べたことをまとめましょう。

この欄は、動画を作成する際に必要な説明を書く等、メモ用に使って下さい。



皆さんの中に「調べ学習はインターネットを開いて「それらしいもの」を見つけたら、それを参考にして終わり」という安直な人がいます。今回は更に深掘りして内容のあるものにしましょう。



ワークシート〔3〕 現地の人に聞いてみよう

() 組 () 番 ()

1. 自分が選んだテーマについて調べてみて疑問に感じたことや現地に行って確認してみたいことを書きましょう。

調べていく作業の中で、不確かな部分や更に疑問に感じる部分が出てくるはずです。その疑問があなたの研修をより深く面白いものにします。忘れずメモしておきましょう。

2. 現地の人の話を聞いてメモしましょう。

【聞き取りメモ】



ワークシート〔4〕動画を作成する①

() 組 () 番 ()

一緒に旅をする仲間に研修地を知ってもらえるように動画を作成しよう！

動画の内容（例）

「名前」 → 「調査報告」 → 「感想」 → 「調べてみて疑問に感じたこと(現地に行って確認してみたいこと)」などをまとめて楽しい動画にしてください（1グループ5分程度）。

①ワークシート〔2〕の4つのテーマでグループに分かれましょう。

【メンバーのテーマと内容を確認しましょう】

名前	テーマと内容
さん	
さん	
さん	
さん	
さん	

②お互いに疑問に思ったことやもっと知りたいことを質問してみましょう。

--



ワークシート〔5〕動画を作成する②

() 組 () 番 ()

動画作成プランシート

メンバー ()

①コンセプト（どのような動画を作成したいのか）



個人で調べたことについて各自動画を作成して、それを繋ぎ合わせるだけでは、見た人に伝わらないよ。しっかりと動画のストーリーを共有してからスタートしましょう。

②ツール（どのように動画を作成したいのか）

動画を作成する際に、パワーポイントを用いるのか、実際に自分達を撮影するのか、声はどうするのか、映画風にするのか、TikTok風にするのか、創造力を生かして取り組みましょう。



③動画のイメージを書いてみましょう。



ワークシート〔6〕情報共有会に向けて

() 組 () 番 ()

1. 作成した動画をみんなで共有しましょう。

【聞き取りメモ】

テーマ	内容と感想

2. 情報共有会に向けて役割分担を決めよう。

名前	役割
さん	司会 2 名（責任者：全体を統括する） 情報共有会のプログラムを考え、当日の進行を行う
さん	動画の説明 4 名 各グループで作成した動画のテーマや内容を説明する
さん	クイズ作成 8 名 動画を視聴後に他の生徒に出題する確認クイズを作成する
さん	振り返り 2 名 動画・クイズが終わった後に全体の振り返りの時間を担当する
さん	夏休み課題 4 名 夏休みの課題についてのプリントを作成し、説明する



情報共有会は、一緒に旅をする仲間に研修地を知ってもらうことが目的です。大きな流れは、以下になります。詳細はみんなで決めてね。

1. 各テーマの動画を共有する
2. 動画の内容が伝わっているかをクイズなどで確認する
3. 全体の振り返りを行う
4. 夏休み課題について説明する



情報共有会

() 組 () 番 ()

1. 動画についてまとめましょう。

【聞き取りメモ】

テーマ	内容

2. 本日の感想を書きましょう。

印象に残ったことや興味を持ったことなどをできるだけ具体的に書こう！



夏休み課題 「個人探究実践」

ここまでの事前学習で知った研修先の知識を基に「この夏、自分で更に深く調べたい」と感じる事柄を問いの形で設定して、探究学習の実践に挑戦しましょう。



大切なことは「誰の真似でもない、あなたの疑問」であること。
そして「まだ答えのない問い」に挑戦できたら、素晴らしいね！
いよいよ、本格的にあなたの探究活動が始まります！

【概要】

課題の目的 ⇒ 研修先で調べ学習を行う前に、個人の疑問を整理・理解すること

提出物 ⇒ 探究まとめ動画（2～3分程度）

提出〆切 ⇒ 2学期最初の探究授業

課題内容 ⇒ 「問い」は研修先についてのものとしますが、内容は自由です。
現地について疑問に感じていることについて調べてみましょう。

〈動画内容の例〉

- ①問い（疑問に感じている点）
- ②その事柄を疑問に感じた理由
- ③どのように調べたか
- ④調べてみた結果の報告
- ⑤感想・まとめ

＊問いについては、夏休み課題 「問い」 設定ワークシートを参照

【探究を実践する上での必須条件】

今回の課題は探究行動（探究アクション）を伴う調べ学習にしてください。

今回の課題では、本やインターネットで調べるだけでなく、居住地域から訪問可能な場所への訪問調査や、関係する機関への問合せ、または詳しい人へのインタビューなどを行ってください。

自分で行動して知識を得ることに挑戦してみましょう。

この「個人探究実践」の内容を情報共有会で夏休み課題の担当生徒に伝えてください。上記の概要をまとめ、新たに分かりやすいプリントを作成します。夏休み課題 「問い」 設定ワークシートは、そのまま配布します。



夏休み課題 「問い」 設定ワークシート

() 組 () 番 ()

あなたの研修先 (沖縄 ・ 奄美大島 ・ 東北 ・ マレーシア ・ 韓国)

1. 研修先のどのようなことに興味を感じているか書いてみましょう。

2. 研修先のどのようなことに疑問を感じているか書いてみましょう。

3. あなたの疑問を「問い」の形にしてみましょう。

4. どのように調べたら答えが見つかるのか考えてみましょう。

【探究アクション記入】

計画している行動	☐ 訪問 ☐ 問合せ ☐ インタビュー ☐ その他
具体的に「誰に または どこに」 「何を聞くのか」「何を調べるのか」 など詳細を記入してみよう	



「個人探究実践」発表会

() 組 () 番 ()

1. 5人グループを作り、一人3分で作成した動画を発表しましょう。

この欄は、動画を紹介する際に必要な説明を書く等、メモ用に使って下さい。3分で紹介します。動画の概要（①問い②その事柄を疑問に感じた理由③どのように調べたか④調べてみた結果の報告⑤感想・まとめ）を発表してください。

発表形式（例）

【はじめ】（氏名）です。私は「～」を問いに設定し、個人探究をすることにしました。それでは具体的に説明します。…（3分に収まるよう、話題を選んで下さい）

【おわり】以上です。ありがとうございました。



話すスピード、声の大きさ、アイコンタクトなど聞き手に伝えることを意識すること。

【聞き取りメモ】

名前	個人探究の内容
さん	
さん	
さん	
さん	

2. グループで最も良かったものを1つ選び、その理由を書きましょう。

名前	理由
さん	

3. グループで選ばれた人は、全体で発表して共有しましょう。

印象に残ったことや興味を持ったことなどは、忘れずメモしておきましょう。



「問い」設定ワークシート①

() 組 () 番 ()

ここまでの探究活動を通じて、少しずつ研修先のことがわかるようになってきましたね！

研修先の知識が増えると、湧いてくる疑問もより深いものになってきたのではないのでしょうか？

あなたの研修先 (沖縄 ・ 奄美大島 ・ 東北 ・ マレーシア ・ 韓国)

1. 研修先のどのようなことに興味や疑問を感じているか
グループ内で共有してみましょう。



2. 研修先の「社会事情」や「地域課題」はどのようなことが挙げられますか。

社会事情について

その地域の歴史的事項、または文化の成り立ちについて疑問を持ち、その背景や歴史的意義、解釈などについて深く調べていくこと

地域課題について

地域が抱える特有の課題に興味を持ち、それを解決するためのアイデアを提案すること



「問い」設定ワークシート②

() 組 () 番 ()

1. 前回話し合った「社会事情」「地域課題」を考察するために、あなたが調査したいことは何でしょう？

【 例：〇〇を考察するために、私たちは△△を調査したい 】

【 例：〇〇の解決策を提案するために、私たちは△△を調査したい 】

これがあなたたちの「問い」となります。

2. 具体的に何をどのように調べたら良いか考えてみましょう。

【 例：〇〇に訪問、□□に問合せ、△△にインタビュー など 】

研修に行く前に調べておきたいこと

研修先での具体的な調査（調べたいこと）

これがあなたたちの「探究アクション」になります。



自分たちの「探究アクション」に必要な情報を集めるために、現地で何ができるか考えましょう。



探究アクションワークシート①

() 組 () 番 ()

事前調査シート

資料の種類	新聞記事 書籍 インターネット その他 ()
調査日	年 月 日 ()
資料名(サイト名)	
資料のタイトル	
掲載日・出版日	
参考ページ・URL	
内容の記録	



各メンバーが探究アクションに関する情報を調べて、共有しましょう。誰が何をどのように調べるかは、話し合って決めてね。



探究アクションワークシート②

() 組 () 番 ()

現地調査シート

研修先の行程表を参考に、具体的に「何を聞くのか」「何を調べるのか」など詳細を記入してみましょう。

日程	訪問先・活動内容	インタビューやアンケートなど調査したいこと
1日目		
2日目		
3日目		
4日目		



探究アクション レポート作成

() 組 () 番 ()

配信した Google document に上書きする形で、レポートを作成しましょう。

アクションプラン レポート		グループメンバー
		9 組 46 番 中杉 花子 3 組 2 番 中杉 たけし
		8 組 15 番 中杉 太郎 2 組 10 番 中杉 良子
私たちの「問い」	フォントはメイリオ タイトルは 14pt その他は 11pt とする	
パン販売店でのフードロス「ロスパン」を 解決する方法を考える。		1 食料を なくそう 12 つくる責任 つかう責任
「問い」の背景、または「問い」の選定理由		
日本のフードロス（まだ食べられるのに廃棄される食品）量は年間 522 万 t（※1）。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援量（2020 年は年間約 420 万トン）の 1.2 倍に相当する。大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮から、フードロスを減らすことが必要である。しかし、食品販売店ではどうしてもフードロスが発生してしまう。この問題を解決する方法を考えたい。 今回は、パン販売店で発生する「ロスパン」の活用方法に焦点を当てて考えたい。 ※1. 農林水産省及び環境省「令和 2 年度推計」 問題になっている事柄の現状をまとめよう。 また、どのような関心や疑問からこの問いに至ったのかを書きましよう。 ※ここでは必要なデータを探して活用しよう。		
調査を経て、わかったこと		
閉店後まで売れ残ってしまい、まだ食べられるのにどうしても捨てざるを得ないパンを「ロスパン」という。パン販売店の努力によりかなり減少傾向にあるが、まだまだロスになってしまうパンは少なくない。実際にパン販売店は製造した食品の 1 割近くをフードロスとしている。 パン販売店は翌日営業の仕込みを夜に行い、翌早朝から焼き上げの作業に入るため「ロスパン」販売の為の深夜営業は不可能であることが分かった。販売できるのであれば価格は少し下げても良いとパン販売店は考えているようである。 現地で調べて知ったこと、新たに見えてきた疑問や課題を書きましよう。		
アクションプラン（東京にいる私たちにできること） ※企画や提案（社会への提言）		
「ロスパン」を専門で買い取り、夜間販売する店舗が必要になる。 複数のパン販売店から安価で「ロスパン」を買い取り、夜間販売する店舗が増えれば、フードロス問題の解決につながるのではないかな。 この業態の発展は以下の効果が期待される。 ①フードロスの減少 ②元販売店の利益になる ③ロスパン販売業にも利益が出る ④夜遅くまで働く人にとっては安価で購入できるので役に立つ ⑤購入者は複数のパン販売店のパンを選ぶことができる ⑥夜勤を行う業態への訪問販売も可能 自分たちの意見やアイデアを披露する場所。 メンバーでいっぱい意見交換して、みんなを驚かせるような 思い切った意見やアイデアを出そう！		

※これをもとに発表用パワポを作る



探究アクション レポート作成

() 組 () 番 ()

配信した Google document に上書きする形で、レポートを作成しましょう。

フォントはメイリオ

タイトルは 14pt、氏名は 12pt、本文は 10.5pt

「食品ロス」をなくすために



1年9組46番 中杉 太郎

I はじめに

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」という。2008年以降、日本では、年間約612万トンの食品ロスを発生させている¹。かといって、日本に住むほとんどの人が食に困っていないかというそうではない。多くの食べ物が捨てられている一方で、貧困に苦しんでいる人が～。このような現状で私達にできることを考えるため、私は循環型社会を考えるフィールドワークに参加した。

II 日本の「食品ロス」の現状と課題

~~~~~。

II章はテーマに設定した分野の現状と課題を調べてまとめよう、白書等を調べてデータを用いるといいですよ(国や企業等、公的なHPの引用はOK!)

### III 株式会社アルフォの取り組み

フィールドワークで訪れた株式会社アルフォ(図1)では、発生してしまった食品廃棄物を資料や燃料に再利用する取り組みを行っている。この取り組みにより、～。



(図1) 2023年1月12日撮影

図や写真を載せてもいいですね、載せたら(図1)(図2)・・・とし、引用元を示してください

### IV 「みなと子ども食堂」の取り組み

~~~~~。

V章は結論です
わかったことや考えたこと、
社会への提言等を書こう

V 「食品ロス」を解消するために必要なこと

~~~~~。

Wikipediaは✖、辞書・字典サイトも✖  
ネット情報だけでなく、本や論文も  
積極的に読んで取り入れてみよう!

<sup>1</sup> 農林水産省(2021)「食品ロス量の公表」<https://www.maff.go.jp/shokusan/kankyoi/210427.html>

2022年2月1日閲覧

※これをもとに発表用パワポを作る

# 沖縄コース



## スケジュール（予定）



| 日次 | 月日<br>(曜)   | スケジュール                                                                                                                                                               | 食事          | 宿泊地          |
|----|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------|
| 1  | 1/10<br>(水) | 羽田空港 09:00頃 ———→——— 那覇空港 11:45頃 道中 11<br>ひめゆり平和資料館 ———<br>✓ひめゆりの塔見学<br>✓学芸員による講話聞き取り<br>✓館内見学<br>①ひめゆり学徒隊を辿るコース<br>②沖縄戦の全てを見ていたシーサーコース<br>③ガマ（自然壕）追体験コース<br>———— ホテル | —<br>○<br>○ | 那覇市<br>(ホテル) |
| 2  | 1/11<br>(木) | 【午前】講義およびディスカッション（下記一例）<br>✓平和を語り継ぐ人材がいなくなる ※ボランティアガイド友の会代表<br>✓沖縄で沖縄を議論できるようになって欲しい ※沖縄大学教授<br>【午後】沖縄の環境問題を考える<br>✓サンゴ再生プログラム<br>✓赤土流出対策プログラム                       | ○<br>○<br>○ | 本部町<br>(ホテル) |
| 3  | 1/12<br>(金) | 【午前】沖縄美ら海水族館見学<br>【午後】民泊プログラム①<br>※沖縄の昔ながらの生活が今なお色濃く残る【今帰仁村（なきじんそん）】<br>での生活を実際に体験していただきます                                                                           | ○<br>○<br>○ | 今帰仁村<br>(民泊) |
| 4  | 1/13<br>(土) | 【午前】民泊プログラム②<br>今帰仁村 ——— 那覇国際通り ——— 那覇空港 15:00頃 ———→——— 羽田空港 17:30頃<br>11 (各自自由食)                                                                                    | ○<br>×<br>— |              |

## 主な立ち寄り場所

### ひめゆり平和祈念資料館（ひめゆりの塔）



沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女子学校的女子学生が日本軍とともに南部に追いやられ、学徒240名中、136人が亡くなるという悲惨な事実がありました。これを後世に伝えることを目的に建てられた資料館です。

### 沖縄美ら海水族館



全国的に絶対的な人気を誇る美ら海水族館。黒潮の海のアクリルパネルは高さ8.2m、幅22.5m、厚さ60cmあり、ジンベエザメやマンタが目の前を優雅に泳ぎ、見る人全てを癒してくれます。沖縄海洋博記念公園の中に位置し、水族館のほかイルカスタジアム、その他海がめ館やジュゴン館があります。

### 民泊（今帰仁村）



沖縄本島北部のやんばるエリアに位置する今帰仁村（なきじんそん）。そんな大自然の中で長年暮らすおじーやおばーの自宅に宿泊するプランです。ホテルの食事やベッドではなく、料理を作り、語らいながら、沖縄ならではの生活を体験し、理解を深めていただけるプログラムです。

### 那覇国際通り



那覇市中心部、約1.6Kmの賑やかな通り。沖縄戦後の焼け野原から急速な発展を遂げたことから、別名「奇跡の1マイル」とも呼ばれます。現在はお土産屋や、飲食店などがずらりと建ち並び、季節を問わず修学旅行生や観光客で賑わいます。研修旅行の最終日に自由散策していただきます。

# 奄美大島コース



## スケジュール（予定）



| 日次 | 月日<br>(曜)   | スケジュール                                                                                                                                                                                                          | 食事          | 宿泊地          |
|----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------|
| 1  | 1/10<br>(水) | 羽田空港 11:45頃 → (機内弁当) → 奄美空港 14:15頃 (奄美十景) あやまる岬 → ホテル                                                                                                                                                           | —<br>○<br>○ | 奄美市<br>(ホテル) |
| 2  | 1/11<br>(木) | <b>【午前】奄美の環境問題を考える① ※手つかずの森やマングローブを守る</b><br>✓マングローブの特性などについての映像鑑賞<br>✓カヌー体験を通じてマングローブに触れる ✓世界遺産センター見学 (2022年OPEN)<br><b>【午後】奄美の環境問題を考える②</b><br>奄美自然観察の森にて<br>天然の国有林や奄美固有種に出会う                                 | ○<br>○<br>○ | 奄美市<br>(ホテル) |
| 3  | 1/12<br>(金) | <b>【終日】瀬戸内町プログラム</b><br>✓油井展望所から瀬戸内町のリアス海岸美を展望<br>✓水中観光船「せと」にて東洋一といわれる美しい珊瑚礁が広がる水中世界を<br>✓海遊びで夢と希望を作り出す「ゼログラビティ」施設見学<br>✓瀬戸内町で暮らす人々との意見交流会 など<br><b>【夕刻】奄美市にて街頭インタビュー</b><br>東京から見た奄美、奄美で暮らす人々から見た奄美、そこにはどんな差が？ | ○<br>○<br>○ | 奄美市<br>(ホテル) |
| 4  | 1/13<br>(土) | <b>【午前】奄美の伝統文化・郷土料理に触れる</b><br>ホテル → 大島紬村 → 奄美の郷土料理「鶏飯」 →<br><泥染め体験><br> 那覇空港 15:20頃 → 羽田空港 17:30頃                           | ○<br>○<br>— |              |

## 主な立ち寄り場所

### あやまる岬



奄美大島の最北端に位置する奄美市笠利町の北東部にある奄美十景、新鹿尻島百景にも選ばれた岬。こんもりとした丸い地形が綾に織りなす「まり」に似ていることからその名が付いたと言われております。晴れた天気の良い日は、東の水平線に喜界島を眺めることができます。

### 奄美自然観察の森



自然を生かした広い園内には遊歩道が整備され、奄美固有の植物や野鳥、昆虫を観察しながら散歩することができます。人と自然が触れ合い、親しみ、体験を通して自然の素晴らしさや、人と自然の関わりについて知るための場として地元の人が大切にしている場です。

### 黒潮の森マングローブパーク



町全体の94%を山林が占める住用町にあるマングローブパークには、アカヒゲヤルリカケス、アマミノクロウサギといった奄美固有種が生息しています。太平洋に面した住用湾の河口には、雄大なマングローブ原生林が広がり、カヌーを通じて体感いただけます。

### 水中観光船せと



鹿児島県大島郡瀬戸内町、奄美大島の南岸、加計呂麻島を対岸に見る大島海峡にある港が、古仁屋港。古仁屋港を基地に、透明度が高い大島海峡のサンゴ礁を探勝する半潜水船が「水中観光船せと」です。東洋一といわれる美しい珊瑚礁が広がる水中の世界を間近で満喫！

# 東北コース



## スケジュール（予定）



| 日次 | 月日<br>(曜)   | スケジュール                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 食事                         | 宿泊地           |
|----|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|---------------|
| 1  | 1/10<br>(水) | <p>JR東京駅 08:00頃  JR新花巻駅 10:40頃  遠野市  大槌町</p> <p>【午後】震災当時を知る① 大槌町ワークショップ（震災疑似体験ワークショップ）～ 大槌町役場からの学び「自分ならどうする？」～</p> <p>震災当時を知る② 三陸鉄道震災学習列車（当時の説明を受けながら走ります）～ 中央大学杉並高等学校 貸切列車 ～</p>                                                                                                                                             | <p>—</p> <p>○</p> <p>○</p> | 大船渡市<br>(ホテル) |
| 2  | 1/11<br>(木) | <p>【午前】震災当時を知る③ 気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館<br/>～ 気仙沼市が目指す【津波死ゼロのまちづくり】～</p> <p>✓旧気仙沼向洋高校校舎（総合実習棟・北校舎・南校舎） ✓折り重なった車</p> <p>昼食（復興状況を知る）気仙沼漁港（復興商店街）・気仙沼おさかな市場 など</p> <p>【午後】復興に向けて① 東松島市 KIBOTCHA（キボッチャ）にて体験プログラム</p> <p>✓東松島市復興シンボルの牡蠣！ 牡蠣筏の見学と【牡蠣ムキ体験】</p> <p>✓牡蠣筏の骨組みで使い切った竹を使って【竹あかりづくり体験】</p> <p>夕食はKIBOTCHA（キボッチャ）にてバーベキューを計画中</p> | <p>○</p> <p>×</p> <p>○</p> | 東松島市<br>(ホテル) |
| 3  | 1/12<br>(金) | <p>【午前】防災まちづくりに向けて 東松島市防災備蓄倉庫（見学と講話）</p> <p>✓災害に備えた備蓄の必要性と備蓄物管理方法の工夫</p> <p>✓備蓄が必要なだけでなく、どのように管理し、いかに配給をスムーズに行うか</p> <p>【午後】災害研究について 東北大学災害科学国際研究所</p> <p>災害メカニズム・緊急対応・復興・防災教育などの研究例を紹介していただきます</p> <p>日本三景のひとつ松島、遊覧船から二百六十余島を望む絶景を！</p>                                                                                      | <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> | 松島町<br>(ホテル)  |
| 4  | 1/13<br>(土) | <p>【終日】班別タクシープラン</p> <p>※班で考えた思い思いのコースをタクシーで巡る</p> <p>JR仙台駅 16:00頃  JR東京駅 18:15頃</p>                                                                                                                                                                                                                                          | <p>○</p> <p>×</p> <p>—</p> |               |

## 主な立ち寄り場所

### 三陸鉄道震災学習列車



三陸鉄道は被災地の復興のシンボルとして、2019年 3月23日、盛駅～久慈駅間 163kmの路線を持つ、全国で最も長い第三セクター鉄道「リアス線」となりました。被災地の【今】を列車で移動しながら直接【見て】【聞いて】【感じて】いただき、今後の防災に役立ててください。

### 東松島市防災備蓄倉庫



震災当時、震災発生から三日間程度、支援物資が届かなかった経験から、東松島市では全市民三日間分の生活に必要な物資の備蓄が可能である、約1,500㎡の大型備蓄倉庫を設置しました。この圧巻の倉庫内を見学し、東京での防災について考察します。

# マレーシアコース



## スケジュール（予定）



| 日次 | 月日<br>(曜)   | スケジュール                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 食事          | 宿泊地               |
|----|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------|
| 1  | 1/10<br>(水) | 成田空港 11:00頃 → クアラルンプール空港 18:10頃 ※道中夕食 ホテル                                                                                                                                                                                                                                                             | 機<br>機<br>機 | クアラルンプール<br>(ホテル) |
| 2  | 1/11<br>(木) | <p>【午前】マレーシアの宗教食を考察する ハラル産業開発公社<br/>～ ハラル制度を政府が運営する唯一の国、マレーシア ～<br/>※グループ単位で講義や社員インタビューなどを行います</p> <p>昼食はハラルを舌で体験 (ハラル料理)</p> <p>【午後】B&amp;Sプログラム → 中大杉並生のグループに現地学生がつき<br/>クアラルンプールの街並みを共に散策します</p>                                                                                                   | 機<br>機<br>機 | クアラルンプール<br>(ホテル) |
| 3  | 1/12<br>(金) | <p>【午前】クアラルンプール郊外の村で異文化を学ぶ カンポンビジット</p> <p>「カンポン」とはマレー語で【田舎・村】を意味し、カンポンビジットとはマレーシアのホームステイプログラムを指します。</p> <p>【午後】マレーシアの伝統工芸を知る バティック染め体験<br/>マレーシアに伝わる伝統工芸で、ろうけつ染の布を指します<br/>自分だけのオリジナルを作成、作品は持ち帰り可能</p>                                                                                               | 機<br>機<br>機 | クアラルンプール<br>(ホテル) |
| 4  | 1/13<br>(土) | <p>【午前】グローバル経済や先端技術を体感する<br/>日系企業訪問 (訪問先未定)<br/>海外に進出する企業を訪問することで、<br/>将来の自分を考え、目指すものが見えてくる、是非そんな機会にしてください！</p> <p>【午後】①マレーシアのブランドを体感する<br/>マレーシアのチョコレートブランド Beryl's (ベリーズ) 訪問<br/>②首都と経済の中心都市が異なる国を目の当たりにする<br/>首都「クアラルンプール」を後にし、行政首都「ブトラジャヤ」へ<br/>ブトラ湖に浮かぶ【ピンクモスク】見学</p> <p>クアラルンプール空港 → 22:50頃</p> | 機<br>機<br>機 | 機中                |
| 5  | 1/14<br>(日) | 成田空港 06:45頃                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 機<br>機<br>機 |                   |

# 韓国コース



## スケジュール（予定）



| 日次 | 月日<br>(曜)   | スケジュール                                                                                                                                                                                                                                                                               | 食事          | 宿泊地           |
|----|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------|
| 1  | 1/10<br>(水) | <p>羽田空港 ———→———— ソウル金浦空港<br/>09:45頃 12:20頃</p> <p>【午後】朝鮮半島統一問題を考える</p> <p>DMZ (Demilitarized Zone) ※非武装地帯<br/>           ✓貸切バスにて「臨津閣」まで移動<br/>           ✓第三トンネルツアー専用車に乗り換え、<br/>           「DMZ映像館」「ドラサン駅」「統一村」等を見学</p> <p>朝鮮戦争から現在へと続く韓国と、北朝鮮の緊迫感を目の当たりにできる場所「板門店」へ変更する場合があります</p> | —<br>○<br>○ | ソウル市<br>(ホテル) |
| 2  | 1/11<br>(木) | <p>同世代の交流を深める</p> <p>【終日】学校交流 ※ソウル市内またはソウル郊外<br/>           ✓各校によるデモンストレーション（出し物）<br/>           ✓校内見学やスポーツ交流、その他交流会 など</p> <p>現地校の諸事情により変更になる可能性あり</p>                                           | ○<br>○<br>○ | ソウル市<br>(ホテル) |
| 3  | 1/12<br>(金) | <p>【午前】日韓関係の未来を考える 韓国の企業視察（下記一例）<br/>           ✓韓国能率協会（韓国において経営コンサルティング事業を運営する）<br/>           ✓ソウル創業ハブ（450社の企業育成を目標とした韓国最大のビジネス・インキュベーション機関）</p> <p>【午後】B&amp;Sプログラム →</p> <p>【夜】ソウル市内劇場にて芸術鑑賞を予定</p> <p>中大杉並生のグループに現地学生がつきソウルの街並みを共に散策します</p>                                     | ○<br>○<br>○ | ソウル市<br>(ホテル) |
| 4  | 1/13<br>(土) | <p>ソウル市内グループ別自由行動<br/>           ※あらかじめグループ毎に計画表を作成</p> <p>✓南大門市場 ✓東大門市場 ✓明洞地区 ✓崇礼門<br/>           ✓南山タワー（Nタワー） ✓徳寿宮 など</p>  <p>ソウル金浦空港 ———→———— 羽田空港<br/>16:00頃 18:30頃</p>                      | ○<br>×<br>— |               |

## 主な立ち寄り場所

### ソウル創業ハブ



ソウル創業ハブは、ソウル市内24カ所のビジネス・インキュベーションセンターを取りまとめる、各コントロールタワーの機能を果たし、起業を夢見るソウル市民に対し、起業の敷居を低くして様々な起業サポートサービスを提供しています。成長著しい韓国企業のスタートともいえる機関です。

### 明洞地区



明洞（みよんどん）はソウルの繁華街で、日本でも知名度の高いエリア。特別市中区にあり、近くには南大門市場もあります。露店や土産用スーパー、デザイナーブティック、化粧品店、百貨店、免税店などが集まり、多くの観光客や地元客が食べ歩きや買い物を楽しんでいます。



## 地域課題を解決しよう(奄美大島)

| 観光行政 チーム           |                                                                                                                                |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【問い】               | 観光客の増加がもたらす、奄美大島にとって良いこととは何だろう                                                                                                 |
| <何を課題と捉えたのか>       |                                                                                                                                |
| 新しい観光素材の発見が必要であること |                                                                                                                                |
| <何を改善(解決・提案)したいのか> |                                                                                                                                |
| まだ見ぬ新しい観光素材の発見をしたい |                                                                                                                                |
| <研修に行く前に調べておきたいこと> |                                                                                                                                |
|                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年の観光客の推移など</li> <li>・観光客に人気のある場所など</li> </ul>                                       |
| <研修中に確認したいこと>      |                                                                                                                                |
|                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地の方が感じる「奄美大島の魅力」について聞きたい</li> <li>・観光客増加に伴う受入れ体制の変化が<br/>島民に与えた影響について確認したい</li> </ul> |

| 学校教育 チーム                      |                                                                                                                                 |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【問い】                          | 奄美大島の文化を継承していくために、<br>学校ではどのような教育をしているのか                                                                                        |
| <何を課題と捉えたのか>                  |                                                                                                                                 |
| 文化を継承できる人が減っていること             |                                                                                                                                 |
| <何を改善(解決・提案)したいのか>            |                                                                                                                                 |
| 奄美大島ならではの文化の継承方法を教育の面から提案したい！ |                                                                                                                                 |
| <研修に行く前に調べておきたいこと>            |                                                                                                                                 |
|                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学制度について</li> <li>・他の地域では文化の継承のために<br/>どのような授業が行われているのか</li> </ul>                      |
| <研修中に確認したいこと>                 |                                                                                                                                 |
|                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・奄美の学校に通っている人に、(奄美文化に関する)どんな授業を受けているか聞きたい</li> <li>・留学生にどのような目的で奄美大島に来たのか聞きたい</li> </ul> |

| 生物多様性 チーム①                                                                |  |
|---------------------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>生物多様性を守っていくための対策とは？                                               |  |
| ＜何を課題と捉えたのか＞                                                              |  |
| 固有種の減少が課題                                                                 |  |
| ＜何を改善(解決・提案)したいのか＞                                                        |  |
| 外来種対策の根本的問題解決方法を考える                                                       |  |
| ＜研修に行く前に調べておきたいこと＞                                                        |  |
| ・現在奄美大島で行われている対策、また他の地域での対策<br>(生物多様性を守る為の対策について)                         |  |
| ＜研修中に確認したいこと＞                                                             |  |
| ・原生林トレッキングのガイドさんに固有種の保護活動について聞く<br>・瀬戸内町の役場の人に外来種と今後どのように付き合っていく<br>べきか聞く |  |

| 生物多様性 チーム②                                       |  |
|--------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>固有種のことを島外の人たちに知ってもらおう為に<br>取り組んでいることについて |  |
| ＜何を課題と捉えたのか＞                                     |  |
| 固有種の危機的現状が島外の人に知られていない                           |  |
| ＜何を改善(解決・提案)したいのか＞                               |  |
| 取り組みを知り、より良い方法を一緒に考えたい                           |  |
| ＜研修に行く前に調べておきたいこと＞                               |  |
| ・固有種の現状がどうなってるのか                                 |  |
| ＜研修中に確認したいこと＞                                    |  |
| ・原生林トレッキングのガイドさんに<br>「どのような取り組みをしているのか」について聞きたい  |  |

| 島民の生活チーム①(現代の暮らし)                                                                                                     |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>奄美大島から出て行った人が、<br>帰って来たくなくなる島とはどんな島なのだろう？                                                                     |  |
| <何を課題と捉えたのか>                                                                                                          |  |
| 人口の流出が課題                                                                                                              |  |
| <何を改善(解決・提案)したいのか>                                                                                                    |  |
| 1 度出て行った人が奄美大島に帰ってくる方法を考えたい                                                                                           |  |
| <研修に行く前に調べておきたいこと>                                                                                                    |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのくらいの人口が流出しているのか</li> <li>・現段階での対策について</li> </ul>                            |  |
| <研修中に確認したいこと>                                                                                                         |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地で出会ういろいろな人に<br/>上京したい理由や、戻りたい理由、戻りたくない理由<br/>島に残りたいと考える理由などを聞きたい</li> </ul> |  |

| 島民の生活チーム②(伝統文化)                                                                         |  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>①方言の文化を島民にとって身近なものにするためには<br>どのような工夫が必要か<br>②大島紬の後継者問題について                      |  |
| <何を課題と捉えたのか>                                                                            |  |
| ①方言が廃れていくことが問題    ②後継者がいないことが問題                                                         |  |
| <何を改善(解決・提案)したいのか>                                                                      |  |
| ①どのような工夫があるか知り、考えたい<br>②後継者不足問題を解決したい(現状を知りたい)                                          |  |
| <研修に行く前に調べておきたいこと>                                                                      |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の地域で行われている代表的な解決策には<br/>どのようなものがあるか</li> </ul> |  |
| <研修中に確認したいこと>                                                                           |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者が不足している問題に関する懸念を<br/>抱いているのか聞きたい</li> </ul>  |  |

| 世界遺産登録 チーム                                                   |  |
|--------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>世界遺産であり続けるためにやるべきことは何だろう<br>(世界遺産登録取り消しを防ぎたい)        |  |
| ＜何を課題と捉えたのか＞                                                 |  |
| 世界遺産登録の理由が広く知られていない<br>世界遺産の登録延期を受けて感じて感じたことを忘れてはいけない        |  |
| ＜何を改善(解決・提案)したいのか＞                                           |  |
| より多くの人に登録理由を知ってもらいたい<br>島民の気持ちの変化・行動について知り、やるべきことを考えたい       |  |
| ＜研修に行く前に調べておきたいこと＞                                           |  |
| ・奄美大島の固有種について改めてしっかり調べておく<br>・世界遺産が何故 1 度登録延期になったのか詳しく調べておく  |  |
| ＜研修中に確認したいこと＞                                                |  |
| ・世界遺産センターで「どのように守っていくべきか」聞きたい<br>・世界遺産登録延期から登録までの気持ちの変化を聞きたい |  |

| 自然環境を守る仕組み チーム                                                    |  |
|-------------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>ロードキルはどこで起きるのか<br>何を重視して対策する必要があるのか                       |  |
| ＜何を課題と捉えたのか＞                                                      |  |
| ロードキルによる固有種の被害                                                    |  |
| ＜何を改善(解決・提案)したいのか＞                                                |  |
| ロードキル事故を減らしたい<br>→速度制限以外の対策や固有種の行動範囲を調べたい                         |  |
| ＜研修に行く前に調べておきたいこと＞                                                |  |
| ・クワサギや他の生物(ロードキルの被害にあう動物)の<br>行動範囲はどのようになっているのか調べたい               |  |
| ＜研修中に確認したいこと＞                                                     |  |
| ・速度制限は有効な対策になっているのか聞きたい<br>・夜間の交通対策についても聞きたい<br>・「軽石問題」についても確認したい |  |



## 社会事情を考察しよう(マレーシア)

| マレーシアのファッション チーム                                                           |  |
|----------------------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>宗教的な観点から日本とマレーシアにおける<br>服装の価値観の違いは何か                               |  |
| ＜なぜその問いを設定したのか＞                                                            |  |
| マレーシアの人々は、ヒジャブとスカーフを着用しているイメージが強いが、彼らが持つ服装に対する考えに興味を持ったから                  |  |
| ＜何を考察したいのか＞                                                                |  |
| 日本では、流行に則って服を買うが、マレーシアの人々は、どのくらい宗教に影響を受けて服を買っているのか調査したい                    |  |
| ＜研修に行く前に調べておきたいこと＞                                                         |  |
| ・日本ではどのような観点で服を売っているのか<br>・日本の服の流行について                                     |  |
| ＜研修中に確認したいこと＞                                                              |  |
| ・現地の人々は、宗教的な服をどこで買っているのか<br>・日本にもある企業(ユニクロ等)では、<br>日本で売っている商品とどのような違いがあるのか |  |

| マレーシアの生活 チーム                                                               |  |
|----------------------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>多民族国家では、現地の人が感じる<br>他民族とどのように関わっているのか                              |  |
| ＜なぜその問いを設定したのか＞                                                            |  |
| マレーシアの人々は、日常生活で異なる民族の人とどのようにに関わり合っているのかを知りたいから(住む場所は偏っているのか等)              |  |
| ＜何を考察したいのか＞                                                                |  |
| マレーシアでの民族同士の関わり方を知り、<br>これから日本は外国人とどのように関わっていくべきかを考えたい                     |  |
| ＜研修に行く前に調べておきたいこと＞                                                         |  |
| ・マレーシアの民族分布を調べる<br>・各民族の特徴について<br>・日本で外国人が多く住む地域について                       |  |
| ＜研修中に確認したいこと＞                                                              |  |
| ・街歩きのとときに各民族が集まる地域を訪問したい<br>・カンポンビジットのときに村の人々に他民族との関わり方を聞く<br>・クイズボードで質問する |  |

| 学校教育 チーム                                                                                                                                        |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>マレーシアの学校生活を考察するために、<br>授業内容、制服の捉え方、宗教への配慮を調査したい                                                                                         |  |
| ＜なぜその問いを設定したのか＞                                                                                                                                 |  |
| 日本とマレーシアの高校生活を比較したいから                                                                                                                           |  |
| ＜何を考察したいのか＞                                                                                                                                     |  |
| 学校生活の違いから、日本人とマレーシア人の価値観の違いが何によって生まれているのか考察したい                                                                                                  |  |
| ＜研修に行く前に調べておきたいこと＞                                                                                                                              |  |
| ・日本とマレーシアの学校教育について<br>(制服で学校を決めるのか等)                                                                                                            |  |
| ＜研修中に確認したいこと＞                                                                                                                                   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史教育、古典の有無、英語の教え方について</li> <li>・統一の制服についてどう感じているのか</li> <li>・昼食(ムスリム以外の人)、テストの時間割、自販機の中身について</li> </ul> |  |

| 宗教行事 チーム                                                                                                                  |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>マレーシアのクリスマスはどのようなものか                                                                                              |  |
| ＜なぜその問いを設定したのか＞                                                                                                           |  |
| 異文化に対してどこまで尊重し、どのように自分の文化を融合させてるかを知りたいと思ったから                                                                              |  |
| ＜何を考察したいのか＞                                                                                                               |  |
| マレーシアの各地域での異文化への接し方を知りたい                                                                                                  |  |
| ＜研修に行く前に調べておきたいこと＞                                                                                                        |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・マレーシアの宗教に関する祝日について</li> <li>・マレーシアにしかない行事について</li> <li>・クリスマスの食事について</li> </ul>   |  |
| ＜研修中に確認したいこと＞                                                                                                             |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショッピングモールでどのようにクリスマスが扱われているのか</li> <li>・マレーシアの人にクリスマスの食事やプレゼントについて聞きたい</li> </ul> |  |

| 食文化 チーム①                                                                     |  |
|------------------------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>多民族国家における食文化について考察するために、学校給食を調査したい                                   |  |
| ＜なぜその問いを設定したのか＞                                                              |  |
| 様々な民族が集まり、また、私たちと同じ世代の人たちが過ごす身近な学校で食事面に関してどのような配慮があるのか気になったから                |  |
| ＜何を考察したいか＞                                                                   |  |
| ・多民族国家における食文化の統一について<br>・民族ごとに食べれないものが出るとき、どのように対応するのか                       |  |
| ＜研修に行く前に調べておきたいこと＞                                                           |  |
| ・各文化を代表する食事について<br>・日本とマレーシアの給食制度について<br>・マレーシアの食事マナーについて                    |  |
| ＜研修中に確認したいこと＞                                                                |  |
| ・現地で出会ういろいろな人に<br>人気メニューは何か、行事に合わせたメニューは出るのか、<br>給食代はどのくらいか、給食を作る人の民族割合を聞きたい |  |

| 食文化 チーム②                                                                      |  |
|-------------------------------------------------------------------------------|--|
| 【問い】<br>現地における海外食の形の変化とは                                                      |  |
| ＜なぜその問いを設定したのか＞                                                               |  |
| 日本では、外国の食文化がそのまま輸入されることが多いが、マレーシアは多民族国家であるため、食文化の捉え方が違うと考えたから                 |  |
| ＜何を考察したいか＞                                                                    |  |
| 食と宗教の関係を通して、マレーシアではどのように海外の食文化を取り入れているのかを考察したい                                |  |
| ＜研修に行く前に調べておきたいこと＞                                                            |  |
| ・海外の食文化における日本での変化について<br>・マレーシアに進出している日本企業の取り組みについて                           |  |
| ＜研修中に確認したいこと＞                                                                 |  |
| ・街での海外食のチェーン店やレストランの数や外装・内装<br>(現地での食品表示など)<br>・学生に海外の食品は好きか、どのくらいの頻度で食べるかを聞く |  |

| マレーシアの流行 チーム①               |                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【問い】                        | 多民族の流行とはどのようなものか                                                                                                                                                               |
| <なぜその問いを設定したのか>             | 日本では共通のものが流行するが、多民族国家であるマレーシアではどのようなものが流行するのか気になったから                                                                                                                           |
| <何を考察したいのか>                 |                                                                                                                                                                                |
| 民族ごとの流行及び共通するポップカルチャーを考察したい |                                                                                                                                                                                |
| <研修に行く前に調べておきたいこと>          |                                                                                                                                                                                |
|                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ではどのように流行が生まれるのか</li> <li>・マレーシアのインフルエンサーについて</li> </ul>                                                                             |
| <研修中に確認したいこと>               |                                                                                                                                                                                |
|                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・流行を知るために世代ごとにインタビューをしたい</li> <li>・日本のポップカルチャーについてどう思うか聞きたい</li> <li>・流行をマーケティングに活用しているのか知りたい</li> <li>・どの国のポップカルチャーが好きか知りたい</li> </ul> |

| マレーシアの流行 チーム②      |                                                                                                                               |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【問い】               | マレーシアの流行を日本と比較しながら調査したい                                                                                                       |
| <なぜその問いを設定したのか>    | 日本と言えば、「着物、サムライ」などがイメージされるが、実際はそうでないように、イメージに捉われないマレーシア文化を知りたいから                                                              |
| <何を考察したいのか>        |                                                                                                                               |
| マレーシアのローカル文化を考察したい |                                                                                                                               |
| <研修に行く前に調べておきたいこと> |                                                                                                                               |
|                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人から見ただけ一般的なマレーシアのイメージを調べる</li> </ul>                                                |
| <研修中に確認したいこと>      |                                                                                                                               |
|                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・街歩きしながら大学生に聞く</li> <li>・同年代の人々に街頭インタビューをする</li> <li>・ショッピングモールの売り場で流行を確認する</li> </ul> |

チーム名 [ 学校教育チーム ]

## 私たちの「問い」

文化を継承するために学校ではどのような教育をしているのか。

## 「問い」の背景、または「問い」の選定理由

大島紬をはじめとした奄美の伝統文化の後継者が不足しているという報道を目にし、興味を持ったから

## 調査を経て、わかったこと

方言、島唄を残してほしいと思う人が多いこと

方言が禁止されている時期があったこと

→親から子へ伝えられていた方言が、今の親世代には伝えられていないため、子に伝えることができない

文化だけでなく、これから奄美の自然を守っていくために、自然についても学んでほしいこと

学校の先生の多くが、鹿児島の方だということ



## アクションプラン（東京にいる私たちにできること） ※企画や提案

### ①奄美大島の文化を詰め込んだ奄美大島オリジナルの教科書をつくる

奄美大島の… 歴史、自然、文化、方言、島唄、郷土料理など！

※身体を動かして体験することを重視した授業にする

※さまざまな分野のエキスパートの方々に協力してもらう

### ②「奄美の日」を制定する



奄美大島の文化に地域全体で親しむための日

小中高生が学校で学んだ文化に実際に触れる機会をつくる  
地域を盛り上げて活性化させる

大島紬を着る

島唄をうたって、踊る

相撲をとる

郷土料理を作って、食べる



チーム名 [ 自然環境を守る仕組みチーム ]

### 私たちの「問い」

ロードキルはどこで起きるのか。どのような対策をすれば良いのか。

### 「問い」の背景、または「問い」の選定理由

世界遺産になったにもかかわらず、**ロードキルによる固有種の被害が問題**となっている。  
ロードキル事故を減らして、固有種を守りたい。

### 調査を経て、わかったこと

- ・クロウサギは市街地にはあまりなく、森の中にたくさんいること。（特に**旧国道 58 周辺**）
- ・クロウサギは半径 1 メートル周りに誰もいない状態が一番安心でき、敵から身を守れる。  
そのため、人が開拓した道に出没するようになったので、ロードキルが多発になったこと。
- ・クロウサギよりもカエルやネズミなどのロードキル被害数が多いこと。
- ・現状のロードキル対策 →道路上に出てこないように柵をつくる  
→看板を作って呼びかけをする  
→夜間一部交通制限、速度制限をする  
→動物専用道路を作る
- ・地元の人にとって固有種が当たり前すぎて、逆に意識しないこと。



### アクションプラン（東京にいる私たちができること） ※企画や提案

- ・運転手にロードキルを詳しく知ってもらって、根本から事故をなくす目的を達成するために、  
私たちは**教習所でロードキルの多発地帯や固有種の活動時間などの現状を学ぶことを**  
**必須にすることを提案したい**と思います。
- ・**旧国道 58**で事故が多発していることより、クロウサギの活動が活発になる **23:00 から 4:30 まで**  
**通行禁止にする**こと。  
近隣居住者に迷惑をかけることが想定されるので、旧国道 58 の両端にゲートを設け、  
居住者にはゲートを開けられるカードを渡して、いつでも通れるようにします。
- ・ロードキルが身近に考えてもらうようにキーホルダーやステッカーなどのグッズを作る案も出ました。



チーム名 [ 生物多様性チーム① ]

私たちの「問い」

### 生物多様性を守っていくための対策とは？



「問い」の背景、または「問い」の選定理由

奄美大島への事前学習により、外来種の増加、固有種の減少が問題として挙げられていたから。

調査を経て、わかったこと

マングース対策は、マングースバスターズなどによってほぼ解決している。  
しかし、ノネコによる被害は増えていて、ノネコの保護施設はパンク状態が続いている。  
一般の方の中にはノネコにエサをあげてしまう方もいる。これは、現地の方は現状が当たり前と  
思っていることから、固有種や外来種への意識があまり高くないことが分かる。  
植物の外来種も増加している。例を挙げると、砂浜の近くには“モクマオ”という木が防風林と  
して多く植えられているが、実際は砂浜が減少する原因となっている。

## アクションプラン（東京にいる私たちにできること） ※企画や提案

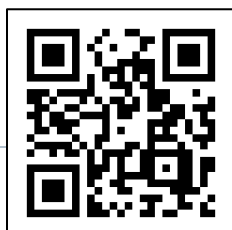
今回、私たちは知識のある人々や行政が効率よく外来種の駆除や、固有種の保護を行うためのスマートフォンアプリを提案します。

仮にこのアプリの名前を「はげ～奄美」とします。

「はげ～奄美」では、現地の人や観光客が奄美で過ごす中で外来種、固有種を見つけたら写真を撮影し、  
位置情報とともにアプリで共有します。見つけた動植物の数や希少度、危険度に応じてポイントが付与  
され、そのポイント数に応じてオンラインでくじを引けます。

くじの景品の例として、ペア旅行券や商品券、飲食店のクーポンやかりんとうなどのお菓子が当たります。  
それらの景品は登録した住所に郵送されます。

このアプリを活用することで、自然環境保護を推進できる  
のではと考え、この案について提案します。



チーム名 [ 生物多様性① ]

私たちの「問い」

固有種のことを島外の人たちに知ってもらうために取り組んでいること。

### 「問い」の背景、または「問い」の選定理由

固有種の危機的現状が、島外の人には知られていない

### 調査を経て、わかったこと

- ・島内の人にとっては、固有種がいることが当たり前。  
→固有種を貴重だと思う機会がない  
→害獣となっているヤツもいる
- ・守るためには登録が必要だが、その数の膨大さに役場の人でも把握しきれていない。  
→空港など水際対策を完全には出来ない。研究会などの実施。



## アクションプラン（東京にいる私たちにできること） ※企画や提案

奄美のことを一方的に知るだけでなく、こちら側の状況も発信することで、奄美の自然がどれだけ貴重であるかを島民の方に知ってもらい、誇りを持ってもらう。

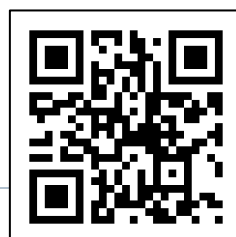
中学生の間に学校の研修として東京に来てもらい、生活環境の違いに触れる。

→大人になって初めて島外に行くと、雇用の面の便利さに魅了されてしまい、その他の面での不便さに目を瞑ってしまうから。

【より手軽に】

奄美大島での研修を終えた中杉生が、今度は東京の紹介人となり、奄美の中学生からの質問にオンラインで答えるという場を作る。

→ ずっと東京に住んでいる人だと、奄美大島の環境との差が分からず、“奄美大島の人々から見て”何が不便で、何が便利か、などが分かりづらい。そこで、実際に研修を終え、奄美大島のことを教えてもらった中杉生を起用することで、自分が実際に研修で見たことを参考に、奄美と東京の差や、奄美の人々の暮らしを踏まえ東京へ来ると何が大変になりそうかなど、さまざまな質問により実用的に答えることができると思う。事後学習として自分が学んだことの復習にもなるし、お世話になった奄美大島に全員が微力ではあるが恩返しすることができる。



チーム名 [島民の生活①（現代のくらしチーム）]

私たちの「問い」

奄美大島から出て行った人が  
帰ってきたくなる島とはどんな島なのだろうか？

## 「問い」の背景、または「問い」の選定理由

若者が進学や就職で島から出て行ってしまい、人口が流出している。  
その結果、島の活気がなくなっているから。

## 調査を経て、わかったこと

- ・人が面白く、人が魅力。人と人のつながりが深い。
- ・生産年齢人口で職業が埋まっている現状があり、新たな雇用を生み出せていない。
- ・奄美大島には大学がないため、知識を得られる場所がない。  
起業をしたくても難しい現状があること。



【次頁に続きます】

## 「奄美大島 = マイノリティ(社会的弱者)の方々も楽しめる島」

という知名度を作る！



ZERO グラビティ(河本さん)のように、  
障がいを持っている方々にとって、楽しめる島を作る  
ための産業を起こし、雇用を作る。

### 具体的なプラン①

車いすの方々が使いやすいことに配慮されている  
ZERO グラビティ清水ヴィラを参考に、車いすを使っても  
奄美大島の伝統文化「泥染め体験」ができるような  
施設やシステムを作ること。



### 具体的なプラン②

視覚・聴覚障がいを持つ方々が奄美大島の自然を感じられるようなトレッキングを企画する。  
視覚障がいを持つ方々には、音声・点字のガイド、鳥や虫の鳴き声や風の音を流す。  
聴覚障がいを持つ方々には、手話のできるガイドをつける。  
旅行会社と協力して、色々な人を対象に、奄美大島を楽しめるような旅行プランをつくる。  
ガイド役やサポート役を若者に任せる→雇用がうまれる



障がい者を対象にした施設やサービスを充実させ、  
「奄美大島は障がい者に優しい島」というイメージを  
作り、観光業の活性化を図る。

生まれ育った島の活性化に協力できる雇用を増やして、

島に帰ってくる人を増やしたい！！

チーム名 [ 島民の生活 ② 方言・大島紬について ]

### 私たちの「問い」

- ①方言の文化を島民にとって身近なものにするためにはどのような工夫が必要か
- ②大島紬の知名度を上げるためには。

### 「問い」の背景、または「問い」の選定理由

- ①方言が廃れていると聞いてそのわけは何か疑問に思ったから。
- ②世界三大織物なのに売れ行きが右肩下がりでだから。

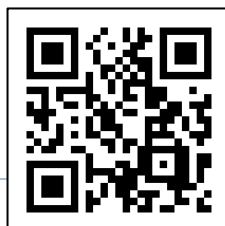


### 調査を経て、わかったこと

- ・意外と周りの人は標準語だった
- ・がっつりの方言は本当に何を言っているか分からなかった。
- ・年代によって方言のレベルが違った。
- ・集落ごとに方言が少しずつ違う
- ・瀬戸内町に大島紬の織り子を育成するシステムがあった。学校の校内放送で方言を流す

### アクションプラン（東京にいる私たちにできること） ※企画や提案

- 既成のアニメまたは独自のアニメを方言で吹き替えする(字幕あり)  
「となりのトトロ」や「平成狸合戦ぽんぽこ」など性別年代問わず有名なアニメを地元の人が吹き替え
- 新聞に方言で書かれたコラムのせる
  - ・四コマ漫画
  - ・連載
  - ・クロスワード
  - ・島の人から集めた面白い話
- 「方言かるた」を作る
- 方言の勉強のためのアプリケーションを作る → 学校教育の現場での活用を考える
- 朝ドラの舞台にする → 聖地巡礼をする人が訪れる
- 「大島紬」を教科書で取り上げる  
「西陣織」のようにテストや受験で覚える必要のあるものにする
- ビジネスの場で話題になるような工夫を考える
  - ・ネームプレート
  - ・名刺入れ
  - ・ネクタイピン



チーム名 [ 観光行政チーム ]

私たちの「問い」

### 観光客の増加がもたらす、奄美大島にとって良いことは何だろう

#### 「問い」の背景、または「問い」の選定理由

観光客増加は「環境が荒らされる」などマイナスイメージが多いが、その逆のプラスな側面を考えようと思ったから。さらに事前学習のなかで「観光客増加による良いことにも目を向けて欲しい」という話を頂いたことも理由の一つである。

問いの背景として、最近のニュースなどで観光客が増加すると環境が悪化し、大切な自然が守られなくなってしまうという報道がされている。奄美大島では近年コロナの影響で減少していたものの、以前は大勢の観光客が訪れていた。そこで、奄美大島でも観光客が増加することの悪影響ばかりに目を向けてしまうのではなく、良いところを探したいと思った。

#### 調査を経て、わかったこと

移住者が多く、その移住者の方々が活発に観光資材(コーヒー豆、マリンスポーツなど)を生かしていると分かりました。移住者の方々は島の外から来るため、現地では当たり前になってしまっている価値のあるものを、客観的に見て活かすことができる。提供する側のレベルも上がったことで、地元の方も目を向けるようになったと知りました。

島の方々にはしがらみがないため、島の外から来た人でもやりたいことを自由にできます！島の方も「若い人が来ると嬉しい」と仰っていました。観光に行った際に、現地の方とつながりを作ることで、また訪れるきっかけにもなるそうです。



【次頁に続きます】

## アクションプラン（東京にいる私たちにできること） ※企画や提案

### 移住者をもっと増やそう！

私たちは調査を経て、奄美大島には移住者のための

**コワーキングスペース**が必要であると思いました！

〈コワーキングスペースとは？〉

個人事業者や起業家、在宅勤務が許可されている会社員、ノマドワーカーといったように、場所の縛りがない環境で働いている人たちによるワークスタイルのこと→子どもを預けられるスペースを作ること子育で世代も利用しやすく！

どのような施設が必要？ それはズバリ！

**働きやすい環境**があり、島の人と**交流**できる場所！！

**人がよく通る場所**に設置し、内装を**オシャレ**することで  
利用しやすくする

利用者ターゲットは**会社員**なので、強力な **WiFi** 設備、  
コピー機や **FAX** の設置、充電コードの完備などがあれば  
より快適に！

いろいろな人が利用できるように**個室**、**会議室**の両方を  
設置する

疲れを癒すための休憩所を完備！奄美大島の**お菓子**や  
**飲み物**の用意も…！



**環境作りには移住支援金を利用**



現地の人と交流できるよう月に 4 回**イベント**を開催！

果物やハンドメイド作品の物々交換

**つぶやき掲示板**を設置し、アイデアや思い出を訪れた人が  
自由に書ける！そこに集落の**行事情報**を提供する！

**方言**や**島唄**の講座の開設

ハンドメイド作家さんたちの**ワークショップ**

（アクセサリ、ジャム、コーヒーなど種類豊富に展開！）

**すべての人が企画し、能動的に動く！！**

**新しいことを始めやすい環境作り！**

チーム名 [ 世界遺産登録 ]

私たちの「問い」

## 世界遺産であり続けるためにやるべきことはなんだろうか？

### 「問い」の背景、または「問い」の選定理由

奄美大島の世界遺産登録について調べる

- 世界遺産になるのに延期もあった
- 世界遺産は取り消されることもあると知る
- **奄美大島はずっと世界遺産でいてほしい！！**



### 調査を経て、わかったこと

- ・世界遺産について行政の人がメインで地元の方はあまり関心がないこと  
→ 行政の方は島民の人にもっと興味を持ってほしいと思っている！
- ・登録前は「自然を守る！」という意識が薄かったが、登録後は意識が向上した。
- ・登録延期は妥当だった → 島民の気持ちがついていってない(準備期間)
- ・島民は観光客が増えることを不安に思っている人も多い
- ・今は「これから」に備えての準備期間
- ・取り消しはないと思う→登録されているエリアには用事がないから立ち入ることはないと思う

### アクションプラン（東京にいる私たちにできること） ※企画や提案

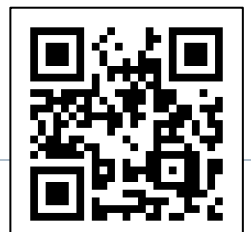
島民と、島を訪れた方々向けに CM を作る！

集落ごとに動画を作り、【最優秀賞】になったら奄美テレビで流してもらう。 ※参加集落には東京土産付き 🍱

企画名は・・・、「**あもーれ いもーれ**」自分達の集落が 1 番になれるよう誇れることをまとめる

ex)この集落で有名な〇〇ばあちゃん

- 観光客、動画を見た人に投票してもらう（空港、レンタカー屋さんなどに投票箱を設置）
- 最優秀賞(1 位)になったら CM で流せる → より多くの人に見てもらえる！来てもらえる！



## 多民族国家の人々は異民族とどのように関わって生活しているのか



## I はじめに

マレーシアには、マレー系、中華系、インド系、その他の民族が共に暮らしており、多民族国家と呼ばれている。一方で、日本には中華系の人々や、労働者を含む外国人が多く暮らしているにも関わらず、「純粋文化・単一民族国家である」と捉えられてしまう。<sup>1</sup> 普段の生活でも異民族と関わる機会は少なく、多くの民族と共存していることを自覚していない。<sup>2</sup> 多民族国家の中で生活しているマレーシアの人々は、異なる民族の人々とどのように関わって生活しているのだろうか。

## II 日本に住む外国人 居住地域と職業から見る日本との関わり方

なぜ日本の人々は、自分たちは単一民族であると思い込んでしまうのだろうか。日本で暮らす外国人に注目し、日本が多文化社会と捉えられにくい理由について考察する。

令和4年6月のデータによると、日本には296万1969人の外国人が暮らしている。<sup>3</sup> 以下は、日本に住む主な外国人とその居住地域、職業を表した表である。

| 国(人口) | 主な居住地域(県) <sup>4</sup> | 主な職業 <sup>5</sup> |
|-------|------------------------|-------------------|
| 中国    | 東京・埼玉・神奈川              | 卸売業・小売業           |
| ベトナム  | 愛知・大阪・東京               | 製造業               |

<sup>1</sup> Harumi BEFU(2005)「日本における文化的多様性—その過去・現在・未来」

【[https://www.kwansei.ac.jp/cms/kwansei/pdf/department/sociology/5288\\_44278\\_ref.pdf](https://www.kwansei.ac.jp/cms/kwansei/pdf/department/sociology/5288_44278_ref.pdf) 2023年01月25日閲覧】

<sup>2</sup> 同前

<sup>3</sup> 出入国在留管理庁(2022)「令和4年6月末現在における在留外国人数について」

【[https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13\\_00028.html](https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00028.html) 2023年1月25日閲覧】

<sup>4</sup> e-start 政府統計の総合窓口(2022)「市区町村別 国籍・地域別 在留外国人」

【<https://www.moj.go.jp/isa/policies/statistics/index.html> 2023年1月25日閲覧】

<sup>5</sup> 厚生労働省(2021)『『外国人雇用状況』の届出状況表一覧(令和3年10月末現在)』

【<https://www.mhlw.go.jp/content/11655000/000887555.pdf> 2023年1月25日閲覧】

|       |           |         |
|-------|-----------|---------|
| 韓国    | 大阪・東京・兵庫  | 卸売業・小売業 |
| フィリピン | 愛知・東京・神奈川 | 製造業     |
| ブラジル  | 愛知・静岡・群馬  | 製造業     |
| アメリカ  | 東京        | 教育      |

日本には、〇〇街、〇〇タウンなどその国の文化を味わえる場所が多くある。しかし、日本に住む外国人は、都市に近い地域や工場が密集する地域など、仕事に就きやすい場所を、居住地として選ぶ傾向があった。また職業面では、製造業に就く人が多いことから、外国人労働者として働く人が多いことが読み取れる。つまり、日本で暮らす外国人は、仕事に就きやすい地域で暮らし、労働を行っているといえる。日本人にも、外国人は労働をしに日本に來ていると、偏ったイメージがつくだろう。

加えて、日本人は外国人に対して、異文化を受容してもらうことを大きく期待してしまう。<sup>6</sup>日本の文化を受け入れてもらおうとするだけでなく、強要してしまうのである。外国人が労働者であれば、日本文化に馴染んで当たり前という考えも強くなるだろう。

よって、日本人は外国の文化を薄めてしまい、自分が多民族国家に住み、多文化を共有していると感じにくくなるのである。

### III マレーシアの民族共生

次に、どのようにしてマレーシアは多民族国家として成り立っているのだろうか。冒頭でも述べた通り、マレーシアには多くの民族が暮らしている。マレー系の民族が70%、中華系が22%、インド系が7%、その他様々な先住民族がいる。<sup>7</sup>それぞれの民族で使用する言語も違う。また、信仰する宗教も様々であり、イスラム教を信仰する人は61%、仏教は21%、キリスト教は9%、ヒンドゥー教は7%いる。<sup>8</sup>人々の異民族との関わり方に注目し、現地で行ったインタビューをもとに考察する。<sup>9</sup>

<sup>6</sup> 安達理恵(2007)「日本人の異文化受容態度にみられる傾向——地方都市での年代別・国別態度調査より」【<https://core.ac.uk/download/pdf/235011995.pdf> 2023年1月25日閲覧】

<sup>7</sup> 外務省(2022)「マレーシア基礎データ」  
【<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/malaysia/data.html> 2023年1月25日閲覧】

<sup>8</sup> 同前

<sup>9</sup> 現地では、カンポンビジットで訪問した家族(イスラム教を信仰)、B&Sプログラムで出会った大学生(仏教)、ガイドさん(仏教)にお話を伺った

まずⅡ章と同様、居住地域と職業に着目する。居住地域については、民族ごとで大きな偏りは見られなかった。<sup>10</sup>しかし、自宅の周辺に住む人たちは、同じ宗教を信仰しており、宗教ごとにある程度まとまって住んでいることが分かった。<sup>11</sup>職業においては、以下の表2のようになった。

| 民族<br>産業  | ブミプトラ<br>(マレー系) | ブミプトラ<br>(その他) | 中華系  | インド系 | その他  |
|-----------|-----------------|----------------|------|------|------|
| 農林漁業      | 14.5(%)         | 10.2           | 34.0 | 5.1  | 20.6 |
| 鉱業        | 0.6             | 0.8            | 0.4  | 0.3  | 0.7  |
| 製造業       | 16.9            | 9.1            | 17.6 | 26.5 | 10.7 |
| 電気、ガス     | 1.3             | 0.9            | 0.5  | 1.6  | 0.5  |
| 建設業       | 7.7             | 8.2            | 11.5 | 5.5  | 10.2 |
| 卸売・小売業    | 11.9            | 12.0           | 30.1 | 13.5 | 18.9 |
| ホテル、レストラン | 8.0             | 5.2            | 7.5  | 5.3  | 8.8  |
| 運輸・通信業    | 6.6             | 4.8            | 5.8  | 13.3 | 5.4  |
| 金融、不動産業   | 3.1             | 1.2            | 5.3  | 4.4  | 2.0  |
| 専門・科学技術   | 2.2             | 1.0            | 3.9  | 3.3  | 1.1  |
| 行政        | 3.4             | 3.2            | 1.5  | 4.9  | 2.8  |
| 公共サービス    | 11.6            | 8.7            | 0.9  | 3.5  | 3.2  |
| 教育        | 10.3            | 5.6            | 4.1  | 5.8  | 3.6  |
| その他       | 6.2             | 5.3            | 6.3  | 7.0  | 11.5 |

(表2)<sup>12</sup>

<sup>10</sup> 同前

<sup>11</sup> 9に同じ

<sup>12</sup> 東京大学(2018)「第10章の目次 マレーシアの労働市場と社会保障制度」

【[https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/gov/research/asia\\_ch10\\_malaysia.pdf](https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/gov/research/asia_ch10_malaysia.pdf) 2023年1月25日閲覧】

民族ごとで若干の偏りは見られるが、職場では異民族と関わる機会があることが読み取れる。近所付き合いは同民族が多いかもしれないが、職場、学校など街に出れば、異民族と関わることが多いのだろう。

では、マレーシアの人々の異文化受容態度はどうだろうか。カンポンビジットで訪れた家族や、B&Sプログラムで出会った大学生は、マレーシアの人々は民族共生をし、他の宗教の行事も楽しんでいると述べた。<sup>13</sup> また、ガイドさんは「仏教ではない宗教を信じている人でも尊重し、偏見の目を持つことはない。」<sup>14</sup>と述べた。お互いの文化や宗教を理解し、尊重する。言葉で言うのは容易いが、行動に移すことは難しいことである。しかし、マレーシアの人々は実践出来ていた。

マレーシアは、人々が日常から異民族と多く関わり、違う宗教や文化を受け入れ楽しんでいるため、多民族国家として成り立っているといえる。

#### IV まとめ

日本は、外国人を「外国から来た人」というように特別視し、相手が自分たちの文化を受け入れることを当たり前だと思っている。そのため、多文化が集まっている国でありながら、純粋文化・単一民族の国だと捉えられてしまう。一方、マレーシアは異民族を特別視することなく、他文化を理解、尊敬し受け入れている。多文化共生の場で、民族や宗教を意識しすぎることなく、皆が同じ一人の人間として生活できているため、マレーシアは多民族国家といえるのである。

研修や考察を通して、マレーシアの人々にとって多文化の中で生活することは、日常的なことであると改めて感じた。また、彼らが異民族、異文化を受け入れるということは、それぞれの文化の個性を、独立させることを意味すると分かった。

日本はこれからマレーシアを見習っていくべきである。日本人は、外国人労働者を多く受け入れているが、外国人が日本人と馴染めていない例もある。移住してきた外国人に、日本文化を受け入れさせるということは、日本文化を強要することではない。日本文化を受け入れてもらうと同時に、相手の文化も理解し、尊重することが大切である。お互いに理解し、歩み寄りながらも、お互いの個性を独立させる。これが、多民族国家となるための基盤になるのである。

---

<sup>13</sup> カンポンビジットで訪れた家族とB&Sプログラムで出会った大学生

<sup>14</sup> ガイドさん

## 多国籍国家における食文化の統一とはどのようなものであるか

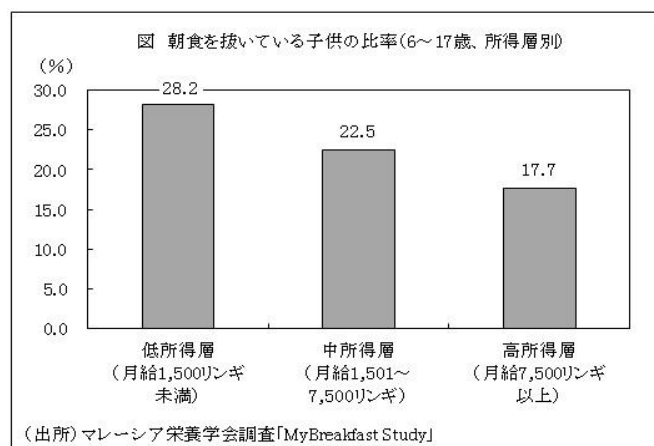


## Ⅰ はじめに

マレーシアは多国籍国家として有名な国で、主にマレー系、中華系、インド系の3つの民族が共に暮らしている。我々の班は多国籍国家における食文化の統一について考察するために、“学校給食”に焦点を当てることにした。マレーシアの学校は様々な民族の子供たちが集まり、共に学ぶ場所だと考え、そのような場所で、互いに違う文化を認め合う環境作りがどのように行われているのか、マレーシアに実際に暮らす学生の声に迫った。

## Ⅱ マレーシアの学校給食の現状と課題

日本に住んでいる私たちにとって家で朝ごはんを食べて、お昼は学校で給食を食べるという流れは当たり前で、他の国もそれが当然だと思っていたが、実際は違った。マレーシアの給食について調べてみると、マスズリー・マリック教育相は8月26日、2020年1月からマレーシア全国の公立小学校に通う小学生270万人に、朝食用給食を無料で提供することを発表したことが



わかった<sup>1</sup>。同相は「栄養バランスのとれた朝食を成長期の小学生に提供し、健康的な食習慣をつけることを狙う」と説明した。マレーシア栄養学会が2015年12月に発表した朝食と学習に関する調査によると、マレーシアにおける6～17歳の子供のうち、4人に1人が朝食を取る習慣がない。小学生、低所得層の子供のそれぞれ約3割が朝食を抜く傾向がある。朝食の無料提供は、2018年11月に同相がマハティール・モハマド首相と訪日した際、東京都の小学校で日本の学校給食システムを視察したことがきっかけとなったようだ。マレーシアはASEAN諸国において子供の肥満率が最も高い国といわれる一方、体重不足あるいは発育不全の子供も少なくないという二重の課題に直面している。

## Ⅲ マレーシアの給食事情

マレーシアを訪問した際、B&S(ブラザー&シスタープログラム)を行い、現地大学生二人とクアラルンプール市内を回った。観光や食事を共にしたのだが、その中で学校生活について質問をしたので、その回答を以下にまとめる。

<sup>1</sup> JETRO(日本貿易復興機) (2019) 「2020年から小学生に無料朝食を提供、日本の給食を手本に」 2023年1月29日閲覧  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2019/10/bc968c02ccb8ae6.html>



Q.マレーシアの給食はどのような感じですか？

A.マレーシアの給食は自分たちで取るバイキング形式です。（イメージ写真をスマホで実際に見せてくれました。）（図1）

日本へ帰国後、インターネットで給食の形式について調査したのですが、日本のような配膳して全員が同じものを食べるという形は珍しく、バイキング形式で好きなものを食べる形。マレーシアのみならず海外では主要なようです。

（図1） 見せてくれた写真に近いもの。世界マザーサロン（2017）<https://wm-salon.com/malaysia-elementaryschoolより>

Q.給食で人気のメニューはなんですか？

A.“ナシレマツ”です。スクールランチの王道です。マレーシアの伝統的な料理で、食堂では大体の学生がそれを食べています。ちょっと辛いです。

【ナシレマツ：Nasi lemak】（図2）

マレー語で「ナシ」はご飯、「レマ」はココナッツミルクの意味を持ち、ココナッツミルクで炊いたご飯のこと。スパイシーなサンバルソースをかけていただきます。チキンが添えられているのは、中華風の特徴だそうです。



（図2） 2022年12月28日撮影

Q.学校の給食にもハラール食品は用意されていますか？

A.宗教に配慮した食事を用意されています。

※ショッピングモールのフードコートで食事の際にこの質問を伺ったのですが、そのとき周りを見渡してから少し声を抑えて話していらっしまったので、宗教に関するお話はデリケートなものであるということを肌で感じました。

#### IVまとめ

実際にマレーシアへ訪れてみて、特に、食べることができるものとそうでないものが複雑なイスラム教への配慮がなされているように感じた。今回の現地の調査では、小中高といった世代の声を聞くことができなかったため、マレーシアで改善しようと活動が行われてる小学校での給食の様子がわからなかったのが心残りである。今後海外へ訪れる機会がある際も、食文化にアンテナを貼って、日本、マレーシアとの違いを見つけていきたい。



動的で包括的な問題解決に向けた、スパイラルとしてのSDGsへ  
出典：<https://miraimedia.asahi.com/satomasahisa01/>



中央大学杉並高等学校  
〒167-0035  
東京都杉並区今川 2-7-1  
Tel: 03-3390-3175  
<https://chusugi.jp/>